

RFL 関西実行委員会 2024 年 2 月 定例会 議事録【サマリ】

日 時：2024 年 2 月 4 日（日）13：00～17:30

場 所：芦屋市青少年センター 第一研修室

出席者：渡邊（前 1 名 ZOOM 参加）、佐野（初参加）、着能、城村、西田、金山、熊谷、須天、高岡

進 行：須天 ・ 記 録：高岡

～テーマ「RFLJ2024 芦屋」未来にむけての Road MAP from 2023～

1. 前回以降の経緯、報告、検討課題

(1) 芦屋市関連

- ・市関連、県の医師会等の後援申請手続きは今週中に行う予定。

(2) 日本対がん協会関連

- ・ summit&kick off 参加者人選（報告）

芦屋実行委員会から参加者 2 名として城村、高岡、ソニー生命ボランティア有志の会代表として須天協会に対しての質問や意見を ML でも吸い上げ、芦屋としての考え方を共有し準備をする。

(3) 前回のふりかえり（議事録より）

- ・会場仮押さえ済み、JCS 個人情報管理キントーン導入の案内、RFL 芦屋 Road MAP の検討、スタッフ確保、収支計画についてなど

2. 新年度体制について

- ・次回以降検討

3. Road MAP from 2023

(1) スタッフ（目標：2023 体制＋4 名）

- ・「市民つどいの場」でお声かけした佐野さんが今回定例会に初参加。

(2) 収入計画について（数値目標を実現するために）

①リレーウォーク参加を募るために（目標有料来場者 482 名、対 2023 年+220 名）

- ・決定事項の確認：リードあしやや市役所での広報活動（詳細別途）

【具体策】

- ・2023 年度は継続しての参加者が減少した。一方で芦屋市での認知度は上がっているように感じるという認識のもと、対象ごとに具体的施策を講じていく。
- ・芦屋市民に対しては、芦屋市長に協力を仰ぎランやウォークの参加、コメントを依頼し発信してみる案や、協力先などの紹介ショート動画、県立芦屋高校などのボランティア部学生を起用して取材やインタビュー動画を作成し配信する案が出され、予定を組んで実行していくこととした。
- ・過去の参加者に対しては、個々に声掛けを行い SNS などの PR 活動に参加してもらおう案が出されたが、まず最初の手はずとして、近況の確認を手書きでお手紙を出し、返信用のはがきを同封してみる案が出され、その手書きメッセージの作成に県立芦屋高校書道部に協力いただく案が出された。何らかの事情で参加から遠のいてしまった過去参加者に対して配慮しつつ、手書きのメッセージを添えることで DM と比べて目を通してもらう可能性も高く、芦屋を思い出していただくキッカケや「つながり」になればよいと考える。また市内の掲示板にもリンクさせ RFL 芦屋の想いなどを紹介するなど内容を工夫して掲示する案も出された。個別具体的に予定を組んで実施することとした。

②キャンドル・ランへの参加を募るために（目標有料来場者 180 名、対 2023 年+104 名）

- ・決定事項の確認：スポーツフォトコンテスト参加

【具体策】

- ・募集開始時期について予定確保のために昨年以上に早め 5 月上旬には告知をすることとした。毎年ご参加いただいている芦屋浜アスリート倶楽部さんは、ただ走ることが楽しくて様々なマラソンイベントに参加する為に早くから予定を組んでいる。そうした状況を考慮する。さらに趣旨を改めて訴求し、走りながら支援にもつながることをアピールする。
- ・過去参加者のインタビュー紹介してみる（芦屋浜アスリート倶楽部など）
- ・告知案内をはがきで送る ⇒ はがきは低コストで目にしてもらいやすい。またアンケートフォームに繋がる QR コードを掲載し参加意向を事前に確認する試みを行う。

③協賛広告費（対 2023 で+14 万円以上）⇒実施のための課題と進捗の確認

検討① 2023 協賛先の個別訪問を実施

検討② JCR ファーマさまへの重点取り込み

検討③ 黄色いレシートキャンペーン 甲子園に一本化

検討④ 新たな助成金申請先として「木口財団」「スポーツ振興くじ（TOTO）」を検討

- ・「スポーツ振興くじ（TOTO）」申し込みには法人格である事、予算書は収入（参加賞など）があることが必須でチャリティは本来含めなくて良い。支出の設定額があり金額は変動がある（今年は80万円以上）。申請のための予算書作成に当たっては主に、計測機や設営費、ゼッケンや参加賞、準備に必要な器具などを支出に含むことができるが、副賞は対象外。今年度の申し込みは終了している。来年度に向けて問い合わせや申し込みの準備の可否検討、シミュレーションを進める（西田）。

検討⑤ 市内企業 10 箇所のリスト化、訪問については4月ごろから手分けして訪問する。

④募金箱（回収効率を上げる）⇒実施のための課題と進捗の確認

検討① 募金箱設置先のエリア別のリスト化と分担しての個別訪問

- ・設置先の郵便番号を調べてリストを整理した。
- ・各人においてまず抜けや異動がないか確認していただいた上で、リストを修正し、訪問の分担を決めていく。

検討② 訪問時の写真、動画を撮影

検討③ Instagram の再度開設、Facebook、X への連動、リポスト

- ・SNSのそれぞれの特性を活かした広報活動を行う。また担当者不在で休眠していたインスタの再設定を行う予定（高岡ほかチームを結成）。

⑤Tシャツ等オリジナルグッズ収入を増やすために（目標 393,200 円、対 2023 年+10 万）

決定事項について確認：ロゴ3月、グッズ案4月、事前販売、当日ピーク時のスタッフ増員、売場面積

- ・今後、予定を組んで進めていく。

⑥その他

- ・芦屋市スポーツ協会さんが例年青少年センター体育館で行なっていたチャリティイベントを実施するか否かを協会の5月総会までに決めて連絡をしていただきたいとのこと。

(3) 支出計画について

①販促品製作費

②広報費

決定事項について確認：活動報告書作成（済み）/DM 発送はしない。HP への導線確保

検討事項：過去参加者、芦屋市周辺への訴求、より広範囲への訴求について手段の特性を考えつつ実施。

③-1 会場施設借用料

- ・継続して交渉する。

③-2 会場設営費

- ・電気設営関連について、大型発電機の使用をせず、グラウンド設備の照明（100円/1時間）を活用し、テントに25mのLED電飾4本（5万円弱）を設置することで約50万円電気設備のコストダウンを行う方向とした。
- ・設営業者と打合せを行い、具体的に支出計画を検討、その上で協会へ提出する予算作成を行う。

③-3 ステージ費用

見栄えと、必要な広さを確保した上で、簡略化し、支出を減らせないか、設営業者と打合せを行い、支出計画を検討、その上で協会へ提出する予算作成を行う。

④事務局運営費（雑費）

検討課題 運搬などで自家用車利用時の燃料代請求について

- ・個々の負担を過度にならない形を作っておく。キロあたりの燃料費などの基準を作成し、支払う方向とする。

⑤その他

今年度の費用の概算は、3月ごろを目途に決める方向で進める。

2月中に設営業者と打合せを行い、見積りを参考に今年度の予算書の作成を行う。

3. その他

(1) スケジュール

- ・3月3日(日) 午前中に横断幕設置、定例会、掲示板ジャック予定。
- ・4月7日(日) 定例会終了後に芦屋市さくらまつりでお花見予定

以上